

アート展

Hibakujumoku - the trees in a community - Kikyo 帰郷

広島で採取された被爆樹木2世の種子は、多くの人々の支えにより世界各地へ運ばれ、その地で根付 き、人々に平和の大切さや、生命の力強さを伝えています。

その中でもノルウェーでは、被爆樹木に感銘を受けたアーティストグループ(Jumoku)が、202 4年6月にスタバンゲル市で被爆樹木を題材にアート展を初めて開催し、本年の8月にもオスロ市で アート展を開催しました。被爆樹木を通じてノルウェーで生まれた芸術作品が広島への帰郷を果たします。

●アート展 Hibakujumoku - the trees in a community - Kikyo 帰郷

開催期間:令和7年11月8日(土)~11月30日(日)

開催場所:広島市植物公園 園内

催:Jumoku (ノルウェーのアーティストグループ)

後 援:広島市、オスロ市、スタバンゲル市、FrittOrd 財団、Bergesen 財団





Green Legacy Hiroshima (GLH) のパートナーであり企 画キュレーターである中英公子氏の呼びかけにより写真家 (アシュリー友実子)、サウンドアーティスト(ジョン・デ レク・ビショップ)、ビジュアルアーティスト(ヘレーネ・ エスペダール=セルヴォーグ)との国際的なコラボレーシ ョンとして企画されました。音楽、写真、映像、タペストリ ー、絵画など多様な表現を通して、被爆樹木の静かな物語に 耳を傾ける場を創出します。

【2024 年6月スタバンゲル市(ノルウェー)で開 催されたアート展の様子

●オープニングイベント

日時:令和7年11月8日(土) 13:30~14:00 場所:イベント広場(雨天時は展示資料館2階講堂)

【内容】 (1) 開会挨拶

(2)プロジェクト紹介、ノルウェーでの展開の様子

(3)被爆樹木の種子を受け取った GLH ノルウェーのパートナー挨拶

(4)アート展の作品紹介

●絵本の読み聞かせ

日時:11月16日(日)10:30~、11:30~

場所:アート展展示場(予定)

定員:各回先着 10 組程度

協力:本の読み聞かせボランティアグループ「ぐるんぱ」 内容:「パンフルートになった木」「I CAN 希望の花の物語」



▲2025 年 8 月にオスロで開かれた アート展のオープニングイベントの様子

※Green Legacy Hiroshima (GLH):被爆樹木の種子を海外に配布することにより、世界中で平和を願う心 を広めようとする活動を行っている。当園は被爆樹木の種子の保存と、海外発送に協力している。



広島とノルウェー、被爆樹木によって生まれたつながり

2017年12月 ICAN ノーベル平和賞 オスロでの種セレモニー

ICANのノーベル平和賞受賞を機に、オスロ大学自然史博物館にて、 被爆樹木の種の贈呈式が開催され、被爆樹木の種子を播種した。

2024年6月

スタバンゲル市植物園

アート展

Messages from the Silent Witnesses (沈黙の証人たちからのメッセージ)」を開催

屋外アート展の第一部として地域の人々に「平和の木々」 とその物語を紹介。オープニングには、支援をした日本の3 名が参加。堀口力氏(樹木医)、渡部朋子氏(ANT-Hiroshima 理事長、GLH 共同創設者)、鈴木雅和氏(筑波大学名誉教 授)



2024年12月

日本被団協ノーベル平和賞

オスロでの種セレモニー

ノーベル平和賞公式事業である「オスロ・ピース・デイズ」の一環 として、オスロ大学自然史博物館にて被爆樹木の種の贈呈式が開催 され、被爆樹木の種子を播種した。

2025年8月

オスロ自然史博物館植物園

アート展「Hibakuiumoku - trærne blant oss (被爆樹木 - わたしたちと共にある木々)」を開催

8月6日から9月6日ま で開催されたこのアート展 は、本プロジェクトの第二部 にあたる。写真、音、織物、 ビデオ、彫刻を通して被爆樹 木の物語を伝えた。





2025年11月8日(土)~11月30日(日)

広島市植物公園

アート展

Hibakujumoku - the trees in a community - Kikyo 帰郷 (共同体に生きる木々 - 帰郷) を開催

本プロジェクトの第三部(最終章)。ノルウ ェーへ旅立った種子がアート作品となり、広 島への帰郷を果たす。



開園時間 午前9時から午後4時半まで(ただし、入園は午後4時まで) - 大人 510 円、65 歳以上・高校生 170 円、 毎週金曜日

